

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第6254419号
(P6254419)

(45) 発行日 平成29年12月27日 (2017.12.27)

(24) 登録日 平成29年12月8日 (2017.12.8)

(51) Int. Cl.		F I	
G 0 6 Q	30/02	(2012.01)	G 0 6 Q 30/02 4 4 4
G 0 6 F	13/00	(2006.01)	G 0 6 F 13/00 5 6 O A
G 0 9 F	19/00	(2006.01)	G 0 9 F 19/00 Z

請求項の数 3 (全 15 頁)

(21) 出願番号	特願2013-224870 (P2013-224870)	(73) 特許権者	511084809
(22) 出願日	平成25年10月30日 (2013.10.30)		株式会社 S P i n n o
(65) 公開番号	特開2015-87890 (P2015-87890A)		東京都台東区松が谷一丁目3番5号 J P R
(43) 公開日	平成27年5月7日 (2015.5.7)		上野イーストビルG1階
審査請求日	平成28年10月12日 (2016.10.12)	(74) 代理人	100107847
			弁理士 大槻 聡
		(72) 発明者	菱沼 紀博
			東京都台東区松が谷一丁目3番5号 J P
			R上野イーストビルG1階 株式会社アル
			テックジャパンホールディングス内
		審査官	山内 裕史

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 広告物作成支援装置及び広告物作成支援プログラム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

2以上のクライアント端末が通信ネットワークを介して接続され、文字アイテムを含む
 広告物の作成を支援する広告物作成支援装置において、

上記クライアント端末からの修正要求に基づいて、上記広告物を編集する広告物編集手
 段と、

2以上のエラー判定グループに共通の管理者によって上記エラー判定グループごとに予
 め指定されたエラー語句を保持するエラー語句記憶手段と、

上記修正要求に基づいて、要求元のクライアント端末が属する上記エラー判定グループ
 を判別するエラー判定グループ判別手段と、

上記広告物中に、上記エラー語句を含む上記文字アイテムが存在するか否かを判別する
 広告物エラー判別手段と、

上記広告物エラー判別手段の判別結果に基づいて、上記修正要求の要求元のクライアン
 ト端末へエラー信号を送信するエラー信号送信手段と、

2以上の管理者グループに共通のテンプレート広告物を保持するテンプレート広告物記
 憶手段とを備え、

上記広告物編集手段は、上記テンプレート広告物を編集して編集広告物を生成し、

上記エラー語句記憶手段には、上記管理者グループの管理者によって、上記エラー判定
 グループごとに予め指定されたエラー語句が保持され、

上記エラー判定グループ判別手段は、上記修正要求の要求元のクライアント端末が属す

10

20

る上記管理者グループ及び上記エラー判定グループを判別し、

上記広告物エラー判別手段は、上記修正要求の要求元のクライアント端末が属する管理者グループ内のエラー判定グループに対応するエラー語句に基づいて、上記編集広告物中に上記文字アイテムが存在するか否かを判別することを特徴とする広告物作成支援装置。

【請求項2】

上記文字アイテムには、広告物からはみ出して配置することが制限されたはみ出し制限アイテムと、他の文字アイテムを重ねて配置することが制限された重ね置き制限アイテムと、傾けて配置することが制限された回転制限アイテムとがあり、

上記広告物エラー判別手段は、上記広告物中に、広告物からはみ出して配置された上記はみ出し制限アイテムが存在するか否かと、他の文字アイテムが重ねて配置された上記重ね置き制限アイテムが存在するか否かと、傾けて配置された上記回転制限アイテムが存在するか否かとを判別することを特徴とする請求項1に記載の広告物作成支援装置。

【請求項3】

文字アイテムを含む広告物の作成を支援する広告物作成支援プログラムであって、クライアント端末からの修正要求に基づいて、上記広告物を編集する広告物編集手順と、

2以上のエラー判定グループに共通の管理者によって上記エラー判定グループごとに予め指定されたエラー語句を記憶するエラー語句記憶手順と、

上記修正要求に基づいて、要求元のクライアント端末が属する上記エラー判定グループを判別するエラー判定グループ判別手順と、

上記広告物中に、上記エラー語句を含む上記文字アイテムが存在するか否かを判別する広告物エラー判別手順と、

上記広告物エラー判別手順における判別結果に基づいて、上記修正要求の要求元のクライアント端末へエラー信号を送信するエラー信号送信手順と、

2以上の管理者グループに共通のテンプレート広告物を保持するテンプレート広告物記憶手順とをコンピュータに実行させ、

上記広告物編集手順では、上記テンプレート広告物を編集して編集広告物を生成し、

上記エラー語句記憶手順では、上記管理者グループの管理者によって、上記エラー判定グループごとに予め指定されたエラー語句が保持され、

上記エラー判定グループ判別手順では、上記修正要求の要求元のクライアント端末が属する上記管理者グループ及び上記エラー判定グループを判別し、

上記広告物エラー判別手順では、上記修正要求の要求元のクライアント端末が属する管理者グループ内のエラー判定グループに対応するエラー語句に基づいて、上記編集広告物中に上記文字アイテムが存在するか否かを判別することを特徴とする広告物作成支援プログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、広告物作成支援装置及び広告物作成支援プログラムに係り、さらに詳しくは、2以上のクライアント端末が通信ネットワークを介して接続され、文字アイテムを含む広告物の作成を支援する広告物作成支援装置に関する。

【背景技術】

【0002】

ポスターやチラシは、商品の販売を促進するのに利用され、販促物と呼ばれている。これらの広告物は、イラスト、写真などが所定の位置に配置されるとともに、タイトル、宣伝文句、メッセージなどの語句を含む文字アイテムを配置することによって構成され、デザインデータを紙などの媒体に印刷した印刷物として提供される。このような広告物は、デザイン編集ソフトを用いて編集することができ、文字アイテムに含まれる語句や文字アイテムのレイアウトを変更することができる。

【0003】

従来、広告物のデザインを変更するには、上述した様なデザイン編集ソフトをインストールした端末装置をクライアント自身が用意しなければならなかった。しかも、その様な端末装置では、編集後の広告物中に、コンプライアンスに反するような語句、例えば、広告規制に抵触する語句が文字アイテムとして含まれていても、気づき難いという問題があった。例えば、パチンコ店などの遊技場、ゲームセンターなどの娯楽施設を提供するアミューズメント業界では、著しく射幸心をあおる語句を広告物中に使用することが制限されている。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

10

本発明は、上記事情に鑑みてなされたものであり、広告物を作成する際の利便性及び安全性を向上させた広告物作成支援装置を提供することを目的とする。特に、広告物中に、コンプライアンスに反するような語句が文字アイテムとして含まれていた場合に、そのことをクライアントに容易に認識させることができる広告物作成支援装置を提供することを目的とする。また、クライアント自身がエラー語句をチェックする場合に比べ、より安全で信頼性の高い広告物を作成することができる広告物作成支援装置を提供することを目的とする。

【0005】

また、本発明は、コンピュータを上述した広告物作成支援装置として機能させることができる広告物作成支援プログラムを提供することを目的とする。

20

【課題を解決するための手段】

【0006】

第1の本発明による広告物作成支援装置は、2以上のクライアント端末が通信ネットワークを介して接続され、文字アイテムを含む広告物の作成を支援する広告物作成支援装置であって、上記クライアント端末からの修正要求に基づいて、上記広告物を編集する広告物編集手段と、2以上のエラー判定グループに共通の管理者によって上記エラー判定グループごとに予め指定されたエラー語句を保持するエラー語句記憶手段と、上記修正要求に基づいて、要求元のクライアント端末が属する上記エラー判定グループを判別するエラー判定グループ判別手段と、上記広告物中に、上記エラー語句を含む上記文字アイテムが存在するか否かを判別する広告物エラー判別手段と、上記広告物エラー判別手段の判別結果に基づいて、上記修正要求の要求元のクライアント端末へエラー信号を送信するエラー信号送信手段とを備え、上記広告物エラー判別手段が、上記修正要求の要求元のクライアント端末が属するエラー判定グループに対応するエラー語句に基づいて、上記文字アイテムが存在するか否かを判別するように構成される。

30

【0007】

この様な構成によれば、エラー語句を含む文字アイテムが存在するか否かの判別結果に応じて、エラー信号が修正要求の要求元のクライアント端末に送信されるので、クライアントは、広告物中に、コンプライアンスに反するような語句が文字アイテムとして含まれているか否かを容易に識別することができる。また、修正要求の要求元のクライアント端末が属するエラー判定グループを判別し、エラー判定グループに対応するエラー語句に基づいて広告物のエラー判別を行うので、当該エラー判定グループに対し、管理者が予め指定したエラー語句によってエラー判別を行うことができる。

40

【0008】

さらに、エラー判別がエラー語句記憶手段に保持されているエラー語句に基づいて自動的に行われるので、知識や経験の浅いクライアントであっても、コンプライアンスに反するような語句が広告物に含まれているか否かを識別することができる。従って、クライアント自身がエラー語句をチェックする場合に比べ、より安全で信頼性の高い広告物を作成することができる。

【0009】

第2の本発明による広告物作成支援装置は、上記構成に加え、2以上の管理者グループ

50

に共通のテンプレート広告物を保持するテンプレート広告物記憶手段を備え、上記広告物編集手段が、上記テンプレート広告物を編集して編集広告物を生成し、上記エラー語句記憶手段には、上記管理者グループの管理者によって、上記エラー判定グループごとに予め指定されたエラー語句が保持され、上記エラー判定グループ判別手段が、上記修正要求の要求元のクライアント端末が属する上記管理者グループ及び上記エラー判定グループを判別し、上記広告物エラー判別手段が、上記修正要求の要求元のクライアント端末が属する管理者グループ内のエラー判定グループに対応するエラー語句に基づいて、上記編集広告物中に上記文字アイテムが存在するか否かを判別するように構成される。

【0010】

このような構成によれば、各管理者グループに共通のテンプレート広告物が保持されるので、クライアントは、いずれの管理者グループに属しているのかにかかわらず、テンプレート広告物を利用して編集広告物を作成することができる。また、修正要求の要求元のクライアント端末が属する管理者グループ及びエラー判定グループを判別して広告物のエラー判別を行うので、エラー判定グループに対し、当該エラー判定グループを含む管理者グループの管理者が予め指定したエラー語句によってエラー判別を行うことができる。

【0011】

第3の本発明による広告物作成支援装置は、上記構成に加え、上記文字アイテムには、広告物からはみ出して配置することが制限されたはみ出し制限アイテムと、他の文字アイテムを重ねて配置することが制限された重ね置き制限アイテムと、傾けて配置することが制限された回転制限アイテムとがあり、上記広告物エラー判別手段が、上記広告物中に、広告物からはみ出して配置された上記はみ出し制限アイテムが存在するか否かと、他の文字アイテムが重ねて配置された上記重ね置き制限アイテムが存在するか否かと、傾けて配置された上記回転制限アイテムが存在するか否かとを判別するように構成される。

【0012】

このような構成によれば、広告物からはみ出して配置されたはみ出し制限アイテムが存在するか否かと、他の文字アイテムが重ねて配置された重ね置き制限アイテムが存在するか否かと、傾けて配置された回転制限アイテムが存在するか否かとの判別結果に応じて、エラー信号がクライアント端末に送信されるので、クライアントは、広告物中に、該当する文字アイテムが存在するか否かを容易に識別することができる。

【0013】

第4の本発明による広告物作成支援プログラムは、文字アイテムを含む広告物の作成を支援する広告物作成支援プログラムであって、クライアント端末からの修正要求に基づいて、上記広告物を編集する広告物編集手順と、2以上のエラー判定グループに共通の管理者によって上記エラー判定グループごとに予め指定されたエラー語句を記憶するエラー語句記憶手順と、上記修正要求に基づいて、要求元のクライアント端末が属する上記エラー判定グループを判別するエラー判定グループ判別手順と、上記広告物中に、上記エラー語句を含む上記文字アイテムが存在するか否かを判別する広告物エラー判別手順と、上記広告物エラー判別手順における判別結果に基づいて、上記修正要求の要求元のクライアント端末へエラー信号を送信するエラー信号送信手順とをコンピュータに実行させ、上記広告物エラー判別手順では、上記修正要求の要求元のクライアント端末が属するエラー判定グループに対応するエラー語句に基づいて、上記文字アイテムが存在するか否かを判別するように構成される。

【発明の効果】

【0014】

本発明による広告物作成支援装置では、広告物中に、コンプライアンスに反するような語句が文字アイテムとして含まれていた場合に、そのことをクライアントに容易に認識させることができ、広告物を作成する際の利便性を向上させることができる。また、本発明による広告物作成支援装置では、クライアント自身がエラー語句をチェックする場合に比べ、より安全で信頼性の高い広告物を作成することができ、広告物を作成する際の安全性を向上させることができる。また、本発明によれば、コンピュータを上述した広告物作成

10

20

30

40

50

支援装置として機能させることができる広告物作成支援プログラムを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【0015】

【図1】本発明の実施の形態による広告物作成支援装置3を含む販促システム1の一構成例を示したシステム図である。

【図2】図1の広告物作成支援装置3の構成例を示したブロック図である。

【図3】図2のデザインエディタ36の構成例を示したブロック図である。

【図4】図2の広告物作成支援装置3の動作の一例を示した図であり、クライアント端末10に表示される編集画面4が示されている。

【図5】図2の広告物作成支援装置3の動作の一例を示した図であり、編集画面4上に表示されるエラーチェックリスト42が示されている。

【図6】図2の広告物作成支援装置3の動作の一例を示した図であり、管理者端末20に表示される納品書画面50が示されている。

【図7】図2の広告物作成支援装置3における広告物の編集処理の一例を示したフローチャートである。

【図8】広告物作成支援装置3の他の構成例を模式的に示した説明図であり、各管理者グループK1～K3に複数のエラー判定グループが含まれる場合が示されている。

【発明を実施するための形態】

【0016】

<販促システム1>

図1は、本発明の実施の形態による広告物作成支援装置3を含む販促システム1の一構成例を示したシステム図である。この販促システム1は、チラシ、ポスターなどの広告物をネットワーク上で作成するためのシステムであり、広告物の作成を支援する広告物作成支援装置3と、2以上のクライアントがそれぞれ使用する2以上のクライアント端末10と、管理者が使用する管理者端末20とにより構成される。広告物作成支援装置3、クライアント端末10及び管理者端末20は、インターネット、LAN（ローカルエリアネットワーク）などの通信ネットワーク2を介して互いに接続されている。

【0017】

クライアントは、広告物のデザインを制作会社に依頼し、制作会社によって作成されたデザインデータを加工して、加工後のデザインデータを元に広告物の印刷を印刷会社に発注する広告物注文者である。クライアントは、販売グループ内のいずれかの店舗A、B、C、・・・に属する。管理者は、店舗A、B、C、・・・が属する販売グループの管理者であり、各店舗における販売業務を統括する。例えば、クライアントは、多数のパチンコ店を運営するアミューズメント会社に属し、管理者は、アミューズメント会社の運営責任者である。

【0018】

クライアント端末10及び管理者端末20は、いずれも操作者による操作を受け付ける操作入力装置と、各種情報を画面表示する表示装置とを備えた端末装置である。広告物作成支援装置3は、クライアント端末10からの修正要求に基づいて、広告物のデザインデータを編集し、編集後のデザインデータから発注用のデザインデータを作成する情報処理装置である。また、広告物作成支援装置3は、クライアント端末10からの発注要求に基づいて、発注用のデザインデータを元に広告物の印刷を印刷会社に発注する。

【0019】

例えば、広告物作成支援装置3は、広告物作成支援プログラムに基づいてコンピュータを動作させることにより実現することができる。また、その様な制御プログラムは、CD-ROMなどのコンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録して提供され、或いは、通信ネットワークを介して提供される。

【0020】

この広告物作成支援装置3は、広告物の編集により、広告物中の文字アイテムに含まれ

10

20

30

40

50

る語句や文字アイテムのレイアウトが変更された場合、編集後の広告物中に、エラー語句が文字アイテムとして含まれているか否かと、アイテム配置条件を満たしていない文字アイテムが含まれているか否かのエラー判別を行う。そして、広告物作成支援装置 3 は、エラー判別結果に応じて、エラー語句を含む文字アイテムが存在し、或いは、アイテム配置条件を満たしていない文字アイテムが存在することを示すエラー信号を修正要求の要求元のクライアント端末 10 へ送信する。

【0021】

広告物作成支援装置 3 には、コンプライアンスに反するような語句をエラー語句として保持するエラー語句 DB (データベース) 31 と、編集用のデザインデータからなるテンプレート広告物を保持するテンプレート DB 32 と、発注用のデザインデータからなる発注用広告物を保持する発注用 DB 33 とが設けられている。

10

【0022】

エラー語句は、販売グループの管理者によって予め指定される語句であり、1 又は 2 以上の文字からなる。テンプレート広告物には、制作会社によって作成されたデザインデータからなる外注広告物や、発注用広告物の中から販売グループの管理者によって承認された承認広告物が含まれる。

【0023】

この販促システム 1 では、販売グループが 2 以上のエラー判定グループに分割され、各エラー判定グループに共通の管理者によってエラー語句が指定される。また、エラー語句は、エラー判定グループごとに、指定される。各エラー判定グループは、1 以上の店舗を含み、店舗が位置する地域、店舗の業態又は店舗のコンセプトが互いに異なる。

20

【0024】

< 広告物作成支援装置 3 >

図 2 は、図 1 の広告物作成支援装置 3 の構成例を示したブロック図である。この広告物作成支援装置 3 は、エラー語句 DB 31、テンプレート DB 32、発注用 DB 33、エラー語句指定部 34、アイテム種別指定部 35、デザインエディタ 36、承認処理部 37、発注処理部 38、納品書生成部 39 及びエラー判定グループ判別部 40 により構成される。

【0025】

エラー語句指定部 34 は、管理者端末 20 からの登録要求に基づいて、販売グループの管理者が指定した語句をエラー語句としてエラー語句 DB 31 に登録する。管理者は、新たな語句をエラー語句として登録し、或いは、既に登録されているエラー語句を削除し、或いは、既に登録されているエラー語句を変更することができる。登録可能な語句には、単語、複合語、文、節、句などが含まれ、日本語の仮名文字、漢字、数字又は英文字を含む語句をエラー語句として登録することができる。

30

【0026】

エラー語句 DB 31 は、多数のエラー語句を保持するエラー判別用の辞書記憶装置である。このエラー語句 DB 31 には、各エラー判定グループ 31a ~ 31c に共通の管理者によってエラー判定グループごとに指定されたエラー語句が保持されている。つまり、エラー判定グループ 31a ~ 31c ごとに異なるエラー語句を登録することができ、エラー語句 DB 31 には、その様なエラー語句がエラー判定グループ 31a ~ 31c に関連づけて保持される。

40

【0027】

アイテム種別指定部 35 は、管理者端末 20 からの登録要求に基づいて、販売グループの管理者が選択したテンプレート DB 32 内のテンプレート広告物 32a に対し、当該テンプレート広告物 32a 中の文字アイテムについて、文字アイテムの種別を指定する。文字アイテムは、1 以上の文字を含み、広告物を構成するための素材部品であり、文字のキャラクタコードと、文字や文字列を装飾するための装飾情報と、種別を示す属性情報により構成される。例えば、装飾情報には、文字種、字体、フォントサイズ、文字色、背景色、文字列の方向、形状、サイズを示す情報がある。

50

【0028】

文字アイテムには、はみ出し制限アイテム、重ね置き制限アイテム及び回転制限アイテムがあり、属性情報により識別することができる。はみ出し制限アイテムは、広告物からはみ出して配置することが制限された文字アイテムである。重ね置き制限アイテムは、他の文字アイテムを重ねて配置することが制限された文字アイテムである。回転制限アイテムは、傾けて配置することが制限された文字アイテムである。文字アイテムの種別は、テンプレート広告物32aごとに指定される。

【0029】

テンプレートDB32は、各エラー判定グループ31a～31cに共通のテンプレート広告物32aを保持する編集用デザインデータ記憶装置である。つまり、販売グループ内のクライアントは、いずれのエラー判定グループ31a～31cに属しているのかにかかわらず、テンプレート広告物32aを用いて広告物を作成することができる。管理者は、新たなテンプレート広告物32aを登録し、或いは、既に登録されているテンプレート広告物32aを削除し、或いは、既に登録されているテンプレート広告物32aを変更することができる。

10

【0030】

テンプレート広告物32aは、1又は2以上の文字アイテムを含むデザインデータにより構成される。広告物のデザインデータは、背景画像と、広告物を示す領域内における背景画像の位置情報と、文字アイテムと、広告物を示す領域内における文字アイテムの位置情報と、文字アイテムの傾斜角度を示す傾き情報、各種属性を示す属性情報により構成される。上記属性情報には、テンプレート広告物32a又は発注用広告物を識別するための識別情報と、編集用であるか否かや、発注の有無を示すフラグ情報が含まれる。テンプレート広告物32aには、文字アイテムを重ねて配置することを禁止するアイテム禁止領域が予め定められている。

20

【0031】

デザインエディタ36は、広告物のデザインデータを編集するための編集処理部であり、クライアント端末10からの修正要求に基づいて、クライアントが選択したテンプレート広告物32aを含む編集画面を生成し、要求元のクライアント端末10へ送信する。また、デザインエディタ36は、クライアント端末10からの修正要求に基づいて、テンプレート広告物32aを編集し、発注用広告物を作成して発注用DB33に書き込む。

30

【0032】

発注用DB33は、発注用広告物を保持する記憶装置である。発注処理部38は、クライアント端末10からの発注要求に基づいて、発注用DB33内の発注用広告物を元に、広告物の印刷を印刷会社に発注する。例えば、発注用広告物を所定のデータ形式に変換して発注用のデザインデータが作成され、印刷会社へ送信される。

【0033】

納品書生成部39は、発注処理の終了後、広告物のデザインデータ又は広告物の印刷物をクライアントに納品するための納品書を作成する。例えば、納品書生成部39は、管理者端末20からの確認要求に基づいて、発注用広告物を含む納品書画面を生成し、要求元の管理者端末20へ送信する。承認処理部37は、管理者端末20からの承認要求に基づいて、発注用DB33から発注用広告物を読み出し、テンプレート広告物32aとしてテンプレートDB32に書き込む。つまり、販売グループの管理者が承認した発注用広告物は、テンプレート広告物32aとしてテンプレートDB32内に格納される。

40

【0034】

エラー判定グループ判別部40は、クライアント端末10からの修正要求に基づいて、要求元のクライアント端末10が属するエラー判定グループ31a～31cを判別し、その判別結果をデザインエディタ36へ出力する。クライアント端末10が属するエラー判定グループ31a～31cは、修正要求に含まれるクライアントの属性情報、例えば、店舗の所在地、店舗名によって判別される。

【0035】

50

デザインエディタ 36 は、広告物中に、エラー語句を含む文字アイテムが存在するか否かと、アイテム配置条件を満たしていない文字アイテムが存在するか否かとを判別し、そのエラー判別結果に基づいて、修正要求の要求元のクライアント端末 10 にエラー信号を送信する。

【0036】

＜デザインエディタ 36＞

図 3 は、図 2 のデザインエディタ 36 の構成例を示したブロック図である。このデザインエディタ 36 は、広告物編集部 101、編集広告物記憶部 102、広告物エラー判別部 103、エラー信号送信部 104 及び発注用広告物書込部 105 により構成される。

【0037】

広告物編集部 101 は、クライアント端末 10 からの修正要求に基づいて、クライアントが選択したテンプレート広告物 32a をテンプレート DB 32 から読み出し、当該テンプレート広告物 32a を含む編集画面を表示するための画面データを生成し、要求元のクライアント端末 10 へ送信する。

【0038】

また、広告物編集部 101 は、クライアント端末 10 からの修正要求に基づいて、テンプレート広告物 32a を編集し、編集広告物を生成する。テンプレート広告物 32a の編集では、文字アイテムに含まれている語句を変更し、或いは、文字アイテムの位置又は傾斜角度を変更し、或いは、文字アイテムを追加又は削除することができる。編集広告物記憶部 102 には、編集作業中の編集広告物が保持される。

【0039】

広告物エラー判別部 103 は、編集広告物中に、エラー語句を含む文字アイテムが存在するか否かを判別し、その判別結果をエラー信号送信部 104 及び発注用広告物書込部 105 へ出力する。広告物のエラー判別は、修正要求の要求元のクライアント端末 10 が属するエラー判定グループ 31a～31c に対応するエラー語句に基づいて、行われる。

【0040】

すなわち、修正要求の要求元のクライアント端末 10 が属するエラー判定グループ 31a～31c に関連づけて保持されているエラー語句をエラー語句 DB 31 から読み出し、編集広告物中の文字アイテムに含まれている語句と照合し、エラー語句と一致する語句が編集広告物中に文字アイテムとして含まれているか否かが判別される。

【0041】

また、広告物エラー判別部 103 は、編集広告物中に、アイテム配置条件を満たしていない文字アイテムが存在するか否かを判別し、その判別結果をエラー信号送信部 104 及び発注用広告物書込部 105 へ出力する。具体的には、アイテム禁止領域に重ねて配置された文字アイテムが存在するか否かと、編集広告物からはみ出して配置されたはみ出し制限アイテムが存在するか否かと、他の文字アイテムが重ねて配置された重ね置き制限アイテムが存在するか否かと、傾けて配置された回転制限アイテムが存在するか否かとが判別される。このような広告物のエラー判別は、例えば、編集広告物を発注用 DB 33 へ保存することがクライアントにより指示された場合に、当該指示に基づいて行われる。

【0042】

エラー信号送信部 104 は、広告物エラー判別部 103 の判別結果に基づいて、修正要求の要求元のクライアント端末 10 へエラー信号を送信する。エラー信号は、編集広告物中に、エラー語句を含む文字アイテムが存在し、或いは、アイテム配置条件を満たしていない文字アイテムが存在することを示す制御信号である。

【0043】

クライアント端末 10 では、編集広告物中に、エラー語句を含む文字アイテムが存在し、或いは、アイテム配置条件を満たしていない文字アイテムが存在することを示すユーザ報知が行われる。例えば、所定の文字列からなるエラーメッセージが編集画面に表示される。

【0044】

発注用広告物書込部105は、広告物エラー判別部103の判別結果に基づいて、編集広告物を発注用広告物として発注用DB33に書き込む。例えば、編集広告物にエラーがなかった場合と、編集広告物にエラーがあっても、当該編集広告物を発注用DB33へ保存することがクライアントにより指示された場合とに、編集広告物が発注用広告物として発注用DB33に書き込まれる。

【0045】

<編集画面4>

図4は、図2の広告物作成支援装置3の動作の一例を示した図であり、クライアント端末10に表示される編集画面4が示されている。この編集画面4には、横長の矩形形状からなる編集領域内に、編集対象の広告物5、チェックボタン8及び保存ボタン9が配置され、エラーメッセージ41が表示されている。

10

【0046】

この広告物5は、パチンコ店の販促用広告物を示す編集広告物であり、縦長の矩形形状からなる背景画像上に、2つの文字アイテム6が配置されている。また、広告物5には、アイテム禁止領域7が定められている。

【0047】

クライアントは、文字アイテム6に含まれている語句や文字アイテム6のレイアウトを変更することができる。この例では、文字アイテム「月に一度の限定開催」がその一部をアイテム禁止領域7に重ねて配置されている。

【0048】

チェックボタン8は、広告物5のエラー判別を広告物作成支援装置3に指示するための操作アイコンである。クライアントは、編集画面4の表示中、任意のタイミングでエラー判別を行わせることができる。保存ボタン9は、広告物5を発注用広告物として発注用DB33に保存することを広告物作成支援装置3に指示するための操作アイコンである。保存ボタン9を操作すれば、広告物5のエラー判別が行われる。

20

【0049】

広告物5のエラー判別では、エラー語句のチェックと、アイテム配置条件のチェックとが行われる。すなわち、エラー語句のチェックでは、広告物5中に、エラー語句を含む文字アイテム6が存在するか否かが判別される。また、アイテム配置条件のチェックでは、広告物5中に、アイテム禁止領域7に重ねて配置された文字アイテム6が存在するか否かと、広告物5からはみ出して配置されたはみ出し制限アイテムが存在するか否かと、他の文字アイテム6が重ねて配置された重ね置き制限アイテムが存在するか否かと、傾けて配置された回転制限アイテムが存在するか否かとが判別される。

30

【0050】

広告物5中にエラー語句が含まれていれば、当該広告物5を発注用DB33に保存することが制限される。また、広告物5中にアイテム配置条件を満たさない文字アイテム6が含まれていれば、当該広告物5を発注用DB33に保存することが制限される。

【0051】

この例では、文字アイテム「月に一度の限定開催」がアイテム禁止領域7に重ねて配置されていることから、チェックボタン8又は保存ボタン9を操作したタイミングで、エラーメッセージ41が表示される。

40

【0052】

<エラーチェックリスト42>

図5は、図2の広告物作成支援装置3の動作の一例を示した図であり、編集画面4上に表示されるエラーチェックリスト42が示されている。このエラーチェックリスト42は、エラー判別の判別結果を示すエラー報知画面である。エラーチェックリスト42には、広告物5中に含まれている1又は2以上のエラー語句が一覧表示されている。

【0053】

エラー語句には、禁止語句及び警告語句の種別がある。広告物5中に、禁止語句が含まれていれば、当該広告物5を発注用DB33に保存することが禁止され、保存できない。

50

一方、警告語句が広告物 5 中に含まれていても、クライアントが許諾を指示すれば、当該広告物 5 を発注用 DB 3 3 に保存することができる。

【0054】

この例では、エラー語句「地域最大」が禁止語句として広告物 5 から抽出され、エラー語句「だんとつ」及び「衝撃」が警告語句として抽出されている。この例に示すように、コンプライアンスに反するような語句、例えば、広告規制に抵触する語句や誤認を防止するための語句がエラー語句に指定される。

【0055】

＜納品書画面 50＞

図 6 は、図 2 の広告物作成支援装置 3 の動作の一例を示した図であり、管理者端末 20 に表示される納品書画面 50 が示されている。この納品書画面 50 は、発注内容を確認するための管理者画面であり、販売グループの管理者により指示された場合に、当該指示に基づいて表示される。

10

【0056】

納品書画面 50 には、印刷ボタン 51、発注用広告物のサムネイル画像 52 及び発注明細欄 53 が配置されている。印刷ボタン 51 は、納品書データの印刷を指示するための操作アイコンである。印刷ボタン 51 を操作することにより、管理者は、納品書データを紙などの媒体に印刷することができる。

【0057】

サムネイル画像 52 は、発注用広告物を縮小した画像であり、印刷会社に発注された発注用広告物のデザインデータからなる。発注明細欄 53 には、発注用広告物を識別するための商品コード、商品名と、印刷物のサイズ、数量、単価、購入金額の合計とが配置されている。管理者は、この様な納品書画面 50 を閲覧することにより、発注内容を確認することができる。

20

【0058】

図 7 のステップ S101～S109 は、図 2 の広告物作成支援装置 3 における広告物の編集処理の一例を示したフローチャートである。この図には、編集広告物のエラーチェックとして、エラー語句が含まれているか否かの判別を行う場合が示されている。

【0059】

まず、デザインエディタ 36 は、クライアント端末 10 からの修正要求に基づいて、テンプレート DB 32 内のテンプレート広告物 32a を選択し、編集領域内に編集広告物として配置した編集画面 4 を生成して、要求元のクライアント端末 10 へ送信する（ステップ S101、S102）。

30

【0060】

次に、デザインエディタ 36 は、修正要求に基づいて、テンプレート広告物 32a を編集し、編集画面 4 の保存ボタン 9 が操作されれば、編集広告物のエラーチェックを行う（ステップ S103～S105）。デザインエディタ 36 は、編集広告物中にエラー語句が含まれていれば、エラーチェックリスト 42 を編集画面 4 上に表示する（ステップ S106、S107）。

【0061】

40

編集広告物を再度編集し、禁止語句を訂正する場合は、ステップ S103 以降の処理手順が繰り返される（ステップ S108）。編集広告物中にエラー語句が含まれていない場合と、禁止語句が訂正された場合と、クライアントが許諾した場合、デザインエディタ 36 は、編集広告物を発注用広告物として発注用 DB 33 に書き込んでこの処理を終了する（ステップ S109）。

【0062】

本実施の形態によれば、エラー語句を含む文字アイテム 6 が存在するか否かの判別結果に応じて、エラー信号が修正要求の要求元のクライアント端末 10 に送信されるので、クライアントは、広告物 5 中に、コンプライアンスに反するような語句が文字アイテム 6 として含まれているか否かを容易に識別することができる。また、修正要求の要求元のクラ

50

クライアント端末10が属するエラー判定グループ31a～31cを判別し、エラー判定グループ31a～31cに対応するエラー語句に基づいて広告物5のエラー判別を行うので、当該エラー判定グループに対し、販売グループの管理者が予め指定したエラー語句によってエラー判別を行うことができる。

【0063】

また、広告物5からはみ出して配置されたはみ出し制限アイテムが存在するか否かと、他の文字アイテム6が重ねて配置された重ね置き制限アイテムが存在するか否かと、傾けて配置された回転制限アイテムが存在するか否かとの判別結果に応じて、エラーメッセージ41が表示されるので、クライアントは、広告物5中に、該当する文字アイテム6が存在するか否かを容易に識別することができる。

10

【0064】

また、クライアント端末10には、アイテム禁止領域7に重ねて配置された文字アイテム6が存在するか否かの判別結果に応じてエラーメッセージ41が表示されるので、修正要求の要求元のクライアントは、広告物5中に、該当する文字アイテム6が存在するかを容易に識別することができる。

【0065】

なお、本実施の形態では、販売グループが2以上のエラー判定グループに分割され、各エラー判定グループに共通の管理者によってエラー語句が指定される場合の例について説明したが、本発明は、販売グループの構成をこれに限定するものではない。例えば、販売グループが2以上の管理者グループに分割され、各管理者グループが2以上のエラー判定グループを含むような構成にも本発明は適用することができる。

20

【0066】

図8は、広告物作成支援装置3の他の構成例を模式的に示した説明図であり、各管理者グループK1～K3に複数のエラー判定グループが含まれる場合が示されている。各管理者グループK1～K3は、互いに異なる管理者によって管理されるグループである。この広告物作成支援装置3では、3つの管理者グループK1～K3に共通のテンプレート広告物32aがテンプレートDB32に保持される。つまり、販売グループ内のクライアントは、いずれの管理者グループK1～K3に属しているのかにかかわらず、テンプレート広告物32aを用いて広告物を作成することができる。

【0067】

30

管理者グループK1は、3つのエラー判定グループA1～C1を包含し、管理者グループK1の管理者は、各エラー判定グループA1～C1に共通の管理者である。管理者グループK2は、2つのエラー判定グループA2及びB2を包含し、管理者グループK2の管理者は、各エラー判定グループA2、B2に共通の管理者である。管理者グループK3は、4つのエラー判定グループA3～D3を包含し、管理者グループK3の管理者は、各エラー判定グループA3～D3に共通の管理者である。

【0068】

例えば、店舗の所在地を元に、地域によって販売グループが管理者グループK1～K3に分割され、また、店舗の販売業態や店舗のコンセプトによって各管理者グループK1～K3がエラー判定グループに分割される。

40

【0069】

エラー語句DB31には、管理者が管理者グループK1～K3ごとに指定したエラー語句が保持される。また、これらのエラー語句は、管理者グループの管理者によって、エラー判定グループごとに指定される。つまり、管理者グループK1～K3ごとに異なるエラー語句を登録することができ、エラー語句DB31には、その様なエラー語句が管理者グループK1～K3に関連づけて保持される。

【0070】

エラー判定グループ判別部40は、修正要求の要求元のクライアント端末10が属する管理者グループK1～K3及びエラー判定グループを判別する。広告物エラー判別部103は、修正要求の要求元のクライアント端末10が属する管理者グループ内のエラー判定

50

グループに対応するエラー語句に基づいて、編集広告物中に、エラー語句を含む文字アイテム 6 が存在するか否かを判別する。

【0071】

この様に構成することにより、各管理者グループ K 1 ～ K 3 に共通のテンプレート広告物 3 2 a が保持されるので、クライアントは、いずれの管理者グループ K 1 ～ K 3 に属しているのかにかかわらず、テンプレート広告物 3 2 a を利用して編集広告物を作成することができる。

【0072】

また、修正要求の要求元のクライアント端末 1 0 が属する管理者グループ及びエラー判定グループを判別して広告物のエラー判別を行うので、エラー判定グループに対し、当該エラー判定グループを含む管理者グループの管理者が予め指定したエラー語句によってエラー判別を行うことができる。つまり、管理者が店舗の販売業態やコンセプトに応じて指定したエラー語句によって、エラー判定を行うことができる。

10

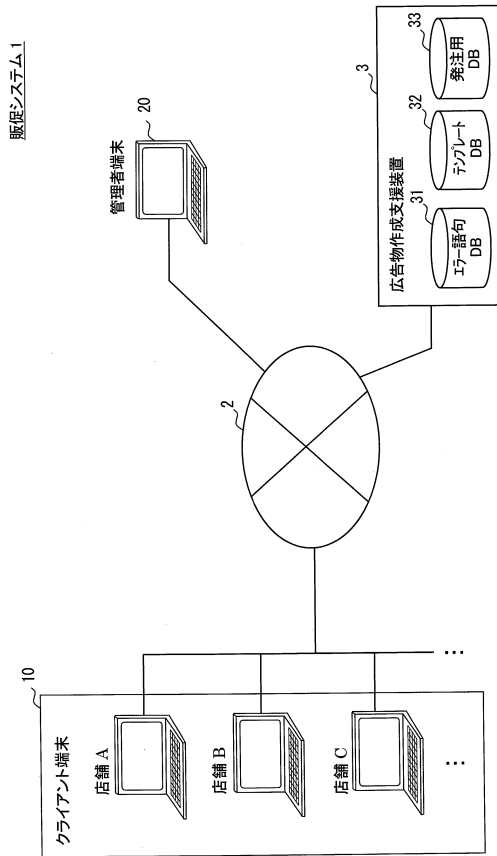
【符号の説明】

【0073】

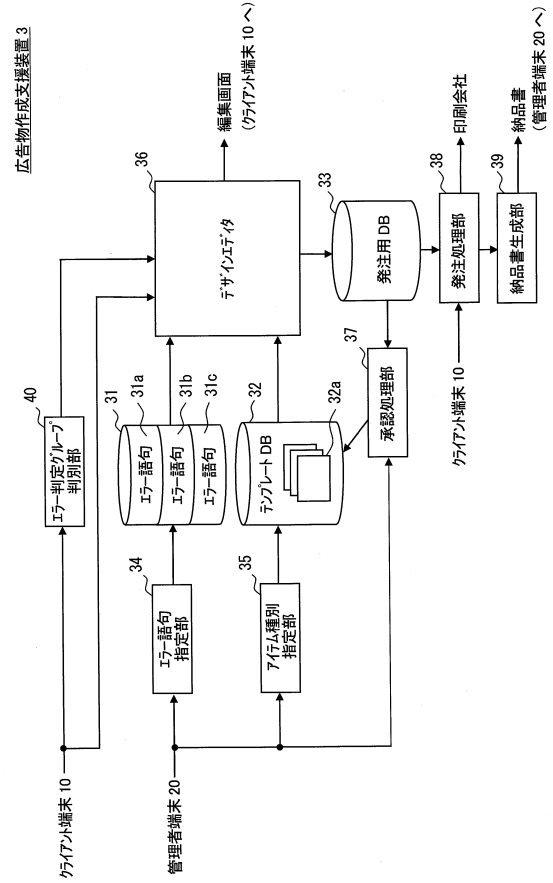
1 販促システム、2 通信ネットワーク、3 広告物作成支援装置
 4 編集画面、5 広告物、6 文字アイテム、7 アイテム禁止領域
 10 クライアント端末、20 管理者端末
 31 エラー語句 DB、32 テンプレート DB、33 発注用 DB
 34 エラー語句指定部、35 アイテム種別指定部、36 デザインエディタ
 37 承認処理部、38 発注処理部、39 納品書生成部
 40 エラー判定グループ判別部、41 エラーメッセージ
 42 エラーチェックリスト
 101 広告物編集部、102 編集広告物記憶部、103 広告物エラー判別部
 104 エラー信号送信部、105 発注用広告物書込部
 K 1 ～ K 3 管理者グループ
 A 1 ～ A 3, B 1 ～ B 3, C 1, C 3, D 3 エラー判定グループ

20

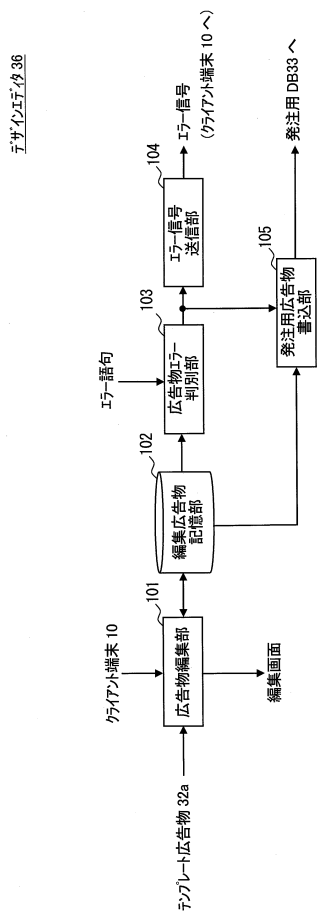
【図 1】



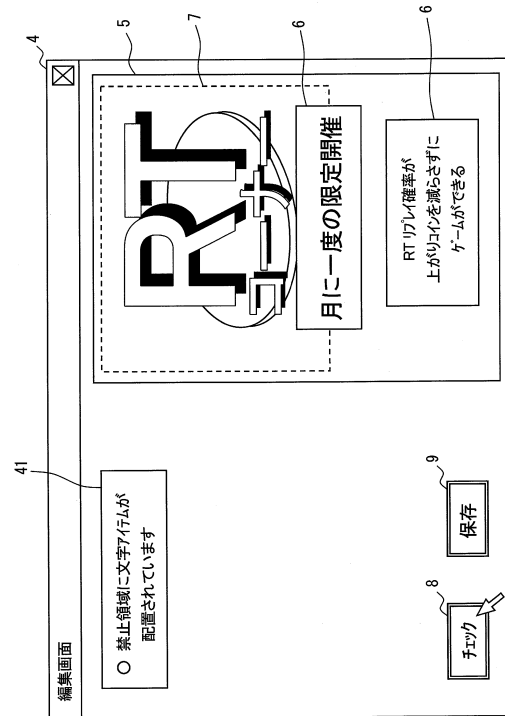
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【図 5】

エラー語句 チェックリスト

警告/禁止	該当語句	使用文字列	理由
禁止語句	地域最大	地域最大の衝撃	著しく射幸心をあおる
警告語句	だんとつ	だんとつ一番	登録商標
警告語句	衝撃	地域最大の衝撃	著しく射幸心をあおる

文字アイテムに上記の禁止語句が含まれています。編集画面に戻り訂正して下さい。

OK

【図 6】

印刷

納品書

発注番号: ××××××
お届け先
××××店様

発行日: ××××××
お問合せ先
株式会社 ××××

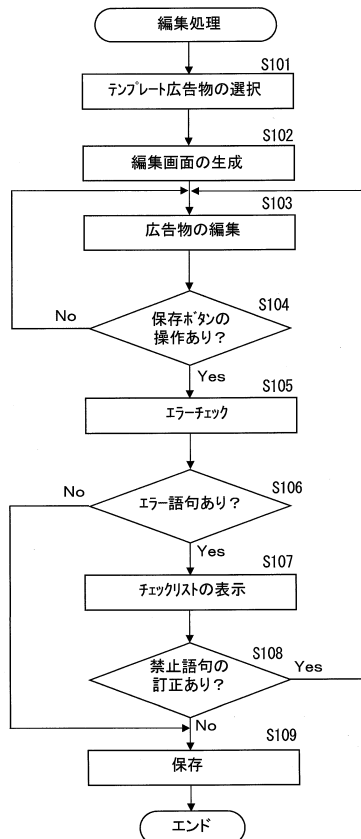
RT
リプレイ

月に一度の限定開催

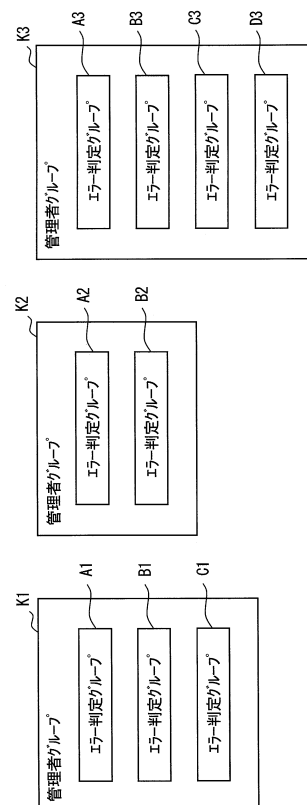
RT リプレイ確率が
上がりコインを減らさずに
ゲームができる

商品コード	商品名	サイズ	数量	単価	合計

【図 7】



【図 8】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開2006-323555 (JP, A)
特開2001-282797 (JP, A)
特開2008-250701 (JP, A)
特開平07-037116 (JP, A)
特開2003-216135 (JP, A)
特開2003-316859 (JP, A)
米国特許出願公開第2008/0249852 (US, A1)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G06Q 10/00 - 99/00
G06F 13/00
G09F 19/00